

## 注 記

この写真集は、表紙に「GRAND CANYON OF ARIZONA Hand-Colored Photographs」、表紙裏に「FRED HARVEY GRAND CANYON EL TOVAR STUDIO」と記され、その後に 12 枚の彩色写真が綴じられたものである。ウェブサイト情報によれば 1925 年に出版されたもので、協会への来歴は不明である。表紙には「アメリカ合衆国アリゾナ州グランドキャニオン写真集（大正年代のものと考えられる）」と記した紙片が貼付されている。

各写真の表題は次の通り。続く括弧内の文字列を表示記号とした。

1. GRAND CANYON from EL TOVAR. (エルトーパー)
2. LOOKING ACROSS THE CANYON, from BRIGHT ANGEL CAMP. (天使小屋より)
3. INDIAN GARDENS. (インディアン庭園)
4. FIRST MILE of BRIGHT ANGEL TRAIL. (天使の道)
5. DEVIL'S CORKSCREW — BRIGHT ANGEL TRAIL. (魔のつづら折り)
6. ZOROASTER — At the foot of BRIGHT ANGEL TRAIL. (拝火教祖)
7. SUNSET, from HOPI POINT. (ホピ点夕景)
8. WEST, from HOPI POINT. (ホピ点西望)
9. THOR'S HAMMER. (雷神の槌)
10. WHITE ZIG-ZAGS ON HERMIT TRAIL. (仙人の道)
11. HERMIT CAMP. (仙人小屋)
12. THE CANYON, from GRAND VIEW. (大観望)

ウェブサイト

<https://www.abebooks.com/first-edition/GRAND-CANYON-ARIZONA-Hand-Colored-Photographs-Harvey/879639275/bd>

(2019.10.3 閲覧)

この写真集が発行された頃、わが国では、国立公園が創設され、それまでの名所、旧跡巡りとは異なる自然科学的な観光が芽生えた。国立公園の候補地調査では、風景の地学的な評価が重視され（岡野；2013）、東京地学協会機関誌「地学雑誌」には国立公園に関する記事が掲載されるようになる（参考1）。

また、1926年、東京で「汎太平洋学術会議」が開催され、全国の特徴ある地形、地質、動植物を紹介する巡検が行われ、その巡検案内「Guide-books of the Excursions, Pan-Pacific Science Congress, 1926」が東京地学協会から発行された（参考2）。

### (参考1) わが国国立公園の創設と東京地学協会の活動

内務省国立公園委員会が12箇所を国立公園に決定した1932年に東京地学協会は地学雑誌「国立公園号」を発行し、内務省が十和田、富士箱根、吉野熊野、大山の4箇所を国立

公園に追加指定した数年後の1940年に地学雑誌「富士山号」を発行している。

実質的な審議を行うため調査会に設けられた特別委員会は、16の候補地から12を選定した。特別委員会の人選や活動内容は西田（2016）に詳しい。また、地学の専門家として選ばれた学識経験委員「脇水」の「海の風景」に関する意見を、長尾（2011）が詳しく考察している。

- 1872 アメリカ合衆国 「イエローストーン公園法」制定（世界初の国立公園誕生）
- 1908 アメリカ合衆国 グランドキャニオンをナショナルモニュメントに指定
- 1911 日光町長西山真平 「日光を帝國公園となす請願」を帝国議会に提出
- 1912 雑報 スイス国に於ける国立公園の創立 地学雑誌 24 292-293
- 1913 雑報 アメリカ合衆国の国立公園 地学雑誌 25 72-73
- 1916 アメリカ合衆国 国立公園を専門的に管理・運営する行政組織「国立公園局」設置
- 1919 アメリカ合衆国 グランドキャニオンを国立公園に指定
- 1921 雑報 ジオン国有公園の開園 地学雑誌 33 236-237
- 1921 内務省衛生局 「全国国立公園候補地基礎調査」開始、東京地学協会会員も参画
- 1925 Fred Harvey Grand Canyon El Tovar Studio 「Grand Canyon of Arizona Hand-Colored Photographs」発行
- 1928 内務省衛生局 全国国立公園候補地基礎調査完了（16個所を調査）
- 1930 内務省 国立公園調査会設置（国立公園に関する法規と選定方針を議論）
- 1931 国立公園法を制定
- 1931 内務省 国立公園法に基づき国立公園委員会設置
- 1932 国立公園委員会 12個所を国立公園に決定
- 1932 東京地学協会 地学雑誌「国立公園号」発行
- 1933 田中啓爾 雑報 北米合衆国の国立公園と我が国の国立公園 地学雑誌 45 98-99
- 1934 内務省 瀬戸内海、雲仙、霧島、大雪山、阿寒、日光、中部山岳、阿蘇の8個所を国立公園に指定
- 1934 脇水鐵五郎 東京地学協会総会講演 日本風景の地学的考察と国立公園選定の方針
- 1934 脇水鐵五郎 日本風景の地学的考察と国立公園選定の方針 地学雑誌 46 452-463  
504-516
- 1936 内務省 十和田、富士箱根、吉野熊野、大山の4個所を国立公園に指定
- 1936 雑報 新国立公園指定 地学雑誌 48 97
- 1940 東京地学協会 地学雑誌「富士山号」発行

太字は東京地学協会の活動

#### 国立公園号（1932）の記事と著者

阿寒	大井上義近
大雪山	渡邊久吉
十和田	木下龜城
日光	福地信世
富士及箱根	大井上義近

日本アルプス  
吉野及熊野  
大山  
瀬戸内海  
阿蘇  
雲仙  
霧島

菌部龍一  
飯塚保五郎  
渡邊久吉  
佐藤源郎  
伊木常誠  
赤木健  
木下龜城

太字は東京地学協会会員（昭和7（1932）年3月末現在）

#### 富士山号（1940）の記事と著者

富士火山の地質学的並に岩石学的研究  
富士山の動物界  
風景上から観た富士山

津屋弘達  
岡田弥一郎  
田中啓爾

太字は東京地学協会会員（昭和15（1940）年3月末現在）

#### 文献

- 岡野隆宏（2013）わが国最初の国立公園選定の際の風景評価 ランドスケープ研究 6 18-24  
長尾 隼（2011）ナショナルな風景をめぐる：国立公園選定過程における風景観の交錯  
関西学院大学先端社会研究所紀要 6 33-55  
西田正憲（2016）1930年代における12国立公園誕生の国立公園委員会にみる風景の政治学  
ランドスケープ研究 9 39-50

#### （参考2）第三回汎太平洋学術会議と東京地学協会の活動

- 1923 第二回汎太平洋学術会議（次回日本で開催を決定）  
1925 雑報 第三回汎太平洋学術会議 地学雑誌 37 310-311  
1925 雑報 第三回汎太平洋学術会議 地学雑誌 37 615-617  
1925 Fred Harvey Grand Canyon El Tovar Studio 「Grand Canyon of Arizona Hand-Colored Photographs」発行  
1926 東京地学協会「Guide-books of the Excursions, Pan-Pacific Science Congress」発行  
1926 第三回汎太平洋学術会議開催（10月27日～11月9日）  
1926 雑報 第三回汎太平洋学術会議概況 地学雑誌 38 735-741  
1927 新著紹介 汎太平洋学術会議見学旅行案内記 地学雑誌 39 58-60  
新著紹介には「それは単に海外来訪者の見学に便せしめしのみならず国内の旅行子にとっても絶好の参考書と信じてお勧めする」と記されている。

太字は東京地学協会の活動

#### 汎太平洋学術会議見学旅行案内記の著者

- A-1 アイヌ John Batchelor  
A-2 幾春別炭鉱地方の地質 矢部長克

- B-1 日光 神社・寺院：伊東忠太、地質：坪井誠太郎・杉健一、  
動物：鏑木外岐男、森林植物：草野俊助
- B-2 箱根 植物：早田文藏、動物：鏑木外岐男、  
地質：大井上義近・小林儀一郎
- C-1 足尾銅山 福地信世
- C-2 日立銅山 鈴木富治・赤岡純一郎
- C-3 磐城無線電信局 中上豊吉
- C-3 仙台及松島 **矢部長克**
- C-4 富士山麓湖水地方 植物：早田文藏、地質：**加藤武夫**・伊原敬之助
- C-5 鎌倉及江ノ島 寺院・神社：伊東忠太、動物：鏑木外岐男、植物：早田文藏、  
地質：小沢儀明
- C-6 木下付近化石産地 **矢部長克**・野村七平
- C-7 加曾利貝塚 小金井良精・松村瞭・移川子之蔵
- C-8 秩父 **佐藤伝蔵**・藤本治義
- C-9 吉見百穴 小金井良精・松村瞭・移川子之蔵
- C-10 三崎臨海実験所 矢津直秀
- D 京都、奈良、大阪、神戸 地理・地質：中村新太郎、植物：郡場寛、昆虫：湯浅八郎
- E-1.2.3.4 宮島 植物：早田文藏、神社：伊東忠太
- E-1.3.4 雲仙火山 地質：小川琢治・本間不二男、  
植物：郡場寛・田代善太郎
- E-1.5 別府温泉 温泉：本間不二男、植物：郡場寛・田代善太郎
- E-2 別子銅山及屋島 地形・地質：小沢儀明、銅山：**加藤武夫**・佐野秀之助
- E-3 三池炭田 地質：**矢部長克**・長尾巧、炭田：佐野秀之助
- E-4 阿蘇火山 地質：**伊木常誠**、植物：郡場寛・田代善太郎
- E-4 球磨川 大谷寿雄
- E-4.5 桜島火山 噴火：**伊木常誠**・坪井誠太郎、植物：郡場寛・田代善太郎
- E-5 青島 地質：**伊木常誠**、植物：中野治房、動物：大島廣

太字は東京地学協会会員（大正 15（1926）年 3 月末現在）